

低温流通管理システム

MELCOLD II

取扱説明書(帳票作成ツール編)

Webサーバー(TC-DSP)用

もくじ

1. インストール	5
2. 使用上の注意事項	5
3. 起動方法	5
4. 手動帳票出力	6
5. 自動帳票出力	11
6. 帳票フォーマット編集	11
7. CSVファイル出力(Ver.2.01以降対応)	17

• 安全のために必ず守っていただく項目を **△警告** **△注意** の形で記載しています。この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、止しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

• この製品は日本国内向けに設計されており、本紙に記載の内容は日本国内においてのみ有効です。
また、海外でのアフターサービスも受けかねますのでご了承ください。



This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。

お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般注意)



(感電注意)



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)



(アース接続)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)」の資格のある者が行うこと。

警告

◎据付工事をするとき


水のかかるおそれのある場所・湿度が高く結露するような場所には据付けないこと。

●ショート・発火・感電・火災・故障のおそれあり。

 水ぬれ禁止


販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

●不備がある場合、感電・火災のおそれあり。

 指示を実行


ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

●強度不足や取付けに不備がある場合、ユニット落下のおそれあり。

 指示を実行


地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

●不備がある場合、ユニット落下のおそれあり。

 指示を実行

梱包材を処理すること。


●包装用の袋で子どもが遊ばないように、破ってから廃棄すること。窒息事故のおそれあり。

 指示を実行

◎電気工事をするとき

第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。


●電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。

 指示を実行

病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。


●インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、ユニットの誤動作や故障が発生するおそれあり。

●ユニット側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じたりするおそれあり。

 指示を実行


リモコンケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること。

●感電、故障のおそれあり。

 指示を実行

正しい容量のブレーカー(漏電遮断器・手元開閉器<開閉器+B種ヒューズ>・配線用遮断器)を使用すること。

●大きな容量のブレーカーを使用すると、故障・火災のおそれあり。

 指示を実行


端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

●接続や固定に不備がある場合、断線・発熱・発煙・火災のおそれあり。

 指示を実行


電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事をする。

●漏電・発熱・火災のおそれあり。

 指示を実行

D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある電気工事業者が行うこと。


●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないこと。
●アースに不備がある場合、ノイズによるユニットの誤動作・感電・発煙・火災のおそれあり。

 アース接続
指示を実行

◎一般注意


特殊環境では、使用しないこと。

●油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

 使用禁止


カバーを取付けること。

●不備がある場合、ほこり・水などによる感電・発煙・火災のおそれあり。

 指示を実行


ユニットを水・液体などで洗わないこと。

●感電・火災・故障のおそれあり。

 水ぬれ禁止

保護具を身に付けて操作すること。


●各基板の端子には電圧がかかっている。保護具をつけないと感電のおそれあり。

 指示を実行

◎移設・修理をするときに

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

●不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。


 禁止

 **注意**

◎据付工事をするときに

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しないこと。


●可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。

 据付禁止

◎電気工事をするときに


電気工事をする場合、主電源を切ること。

●感電・けがのおそれあり。

 感電注意

電源には過電流遮断器および、漏電遮断器を取付けること。

●過電流遮断器はユニット 1 台につき 1 個設置すること。
●感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

 指示を実行

◎一般注意

部品端面に触れないこと。

- けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。

- 針金や銅線を使用すると、火災のおそれあり。



指示を実行

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作しないこと。

- 火災・感電・故障のおそれあり。



ぬれ手禁止

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子供を近づけないこと)

- 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。



指示を実行

お願い

直射日光のあたる場所、または周囲温度が55℃以上・-10℃以下になる場所に据付けないでください。

- 変形・故障のおそれあり。

電源線と信号線を結束したり同じ金属管に収納したりしないでください。

- 誤作動のおそれあり。

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

電源線を信号端子台に接続しないでください。

- 故障・破壊のおそれあり。

インターネットに接続する場合、セキュリティを確保してください。

- 不正アクセスやいたずら操作のおそれあり。
VPN ルーターなどのセキュリティ機器を使用すること。

制御盤などの扉に取付けないでください。

- 振動・衝撃が加わると、落下・故障のおそれあり。

1. インストール

エクスプローラを使用し、帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」ファイルをWebサーバー(TC-DSP)上の以下のフォルダにコピーして下さい。

(以下のフォルダが存在しない場合はフォルダを作成して下さい)

- コピー先フォルダ

C:¥MELCOLD2

2. 使用上の注意事項

- 帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」はMicrosoft Office Excel2010が必要です。
帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」はMicrosoft Office Excel2010より古いバージョンでは正しく動作しません。
- 帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」は毎日の帳票を自動生成しているため、パソコン稼動中は帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」を終了させないで下さい。
帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」を終了させると、帳票が自動生成されなくなり^注、MELCOLD II の監視画面(ブラウザ)にて帳票が表示されなくなります。
注. 毎日0:10に前日の帳票を自動生成します。
- 帳票作成ツールのソフトウェアバージョンは以下の画面にて確認できます。

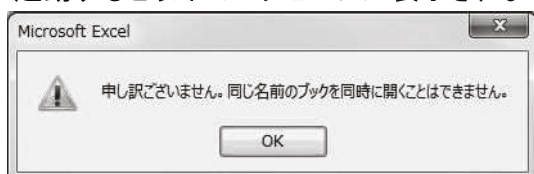


3. 起動方法

前述の1-1項に示すインストールフォルダ“C:¥MELCOLD2”内の「TC-XLS.xlsm」ファイルをダブルクリックして下さい。

注1. 工場出荷時、パソコンはWindowsログオン時に帳票作成ツールが自動起動するように設定されています。

注2. 既に帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」が起動している状態で、帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」を起動すると以下のメッセージが表示されますので、多重起動しないでください。



4. 手動帳票出力

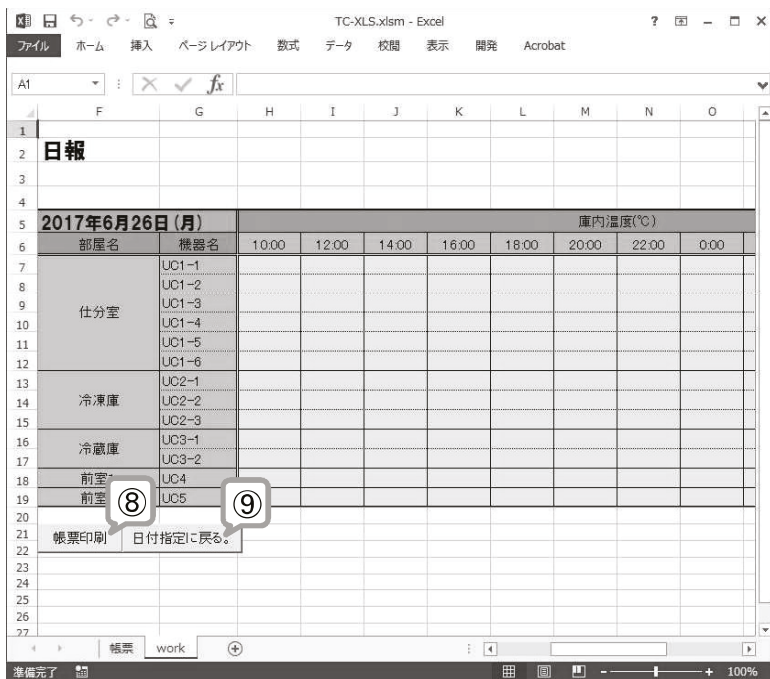
4-1. 日報出力



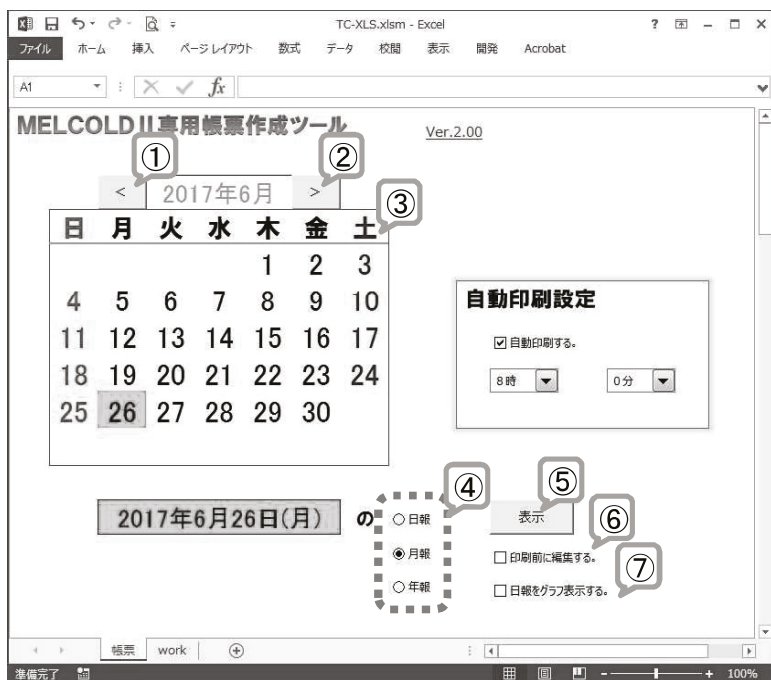
- 1) 「<」ボタン(①)、「>」ボタン(②)をクリックして出力したい日報の年月を指定してカレンダー(③)を表示させてください。
- 2) 前述の1)で指定した年月のカレンダー(③)から出力したい日報の日付を指定してください。
- 3) 「日報」(④)を選択した状態で「表示」ボタン(⑤)をクリックします。
- 4) 検認欄等、帳票を編集したい場合、「印刷前に編集する。」(⑥)をチェックして下さい。
- 5) 「印刷前に編集する。」(⑥)にチェックしていない場合、次の日報のプレビュー画面が表示されます。プリンターへ出力したい場合はプレビュー画面左上の「印刷」ボタンをクリックして下さい。

2017年6月26日(月)		庫内温度(℃)											備考	
型番名	機器名	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00	0:00	2:00	4:00	6:00	8:00	
仕分室	RR1-1													
	UC1-2													
	UC1-3													
	UC1-4													
	UC1-5													
	UC1-6													
冷凍庫	UC2-1													
	UC2-2													
	UC2-3													
冷凍庫	UC3-1													
	UC3-2													
前室1	UC4													
	UC5													

- 6) 「印刷前に編集する。」(⑥)にチェックした場合、指定した日報の“WORK”シートが表示されますので、検認欄等、必要に応じて編集して下さい。
 帳票を印刷したい場合は、「帳票印刷」ボタン(⑧)をクリックします。プレビュー画面が表示されます。別の帳票を表示したい場合は、「日付指定に戻る。」ボタン(⑨)をクリックします。“帳票”シートが表示されます。



4-2. 月報出力

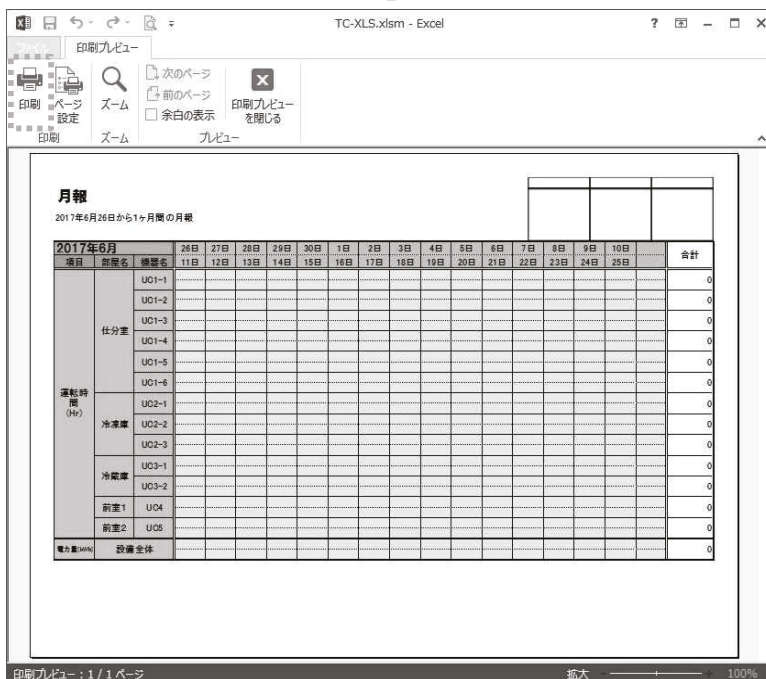


- 1) 「<」ボタン(①)、「>」ボタン(②)をクリックして出力したい月報の年月を指定してカレンダー(③)を表示させてください。
- 2) 前述の1)で指定した年月のカレンダー(③)から出力したい月報の日付を指定してください。
- 3) 「月報」(④)を選択した状態で「表示」ボタン(⑤)をクリックします。
- 4) 検認欄等、帳票を編集したい場合、「印刷前に編集する。」(⑥)をチェックして下さい。

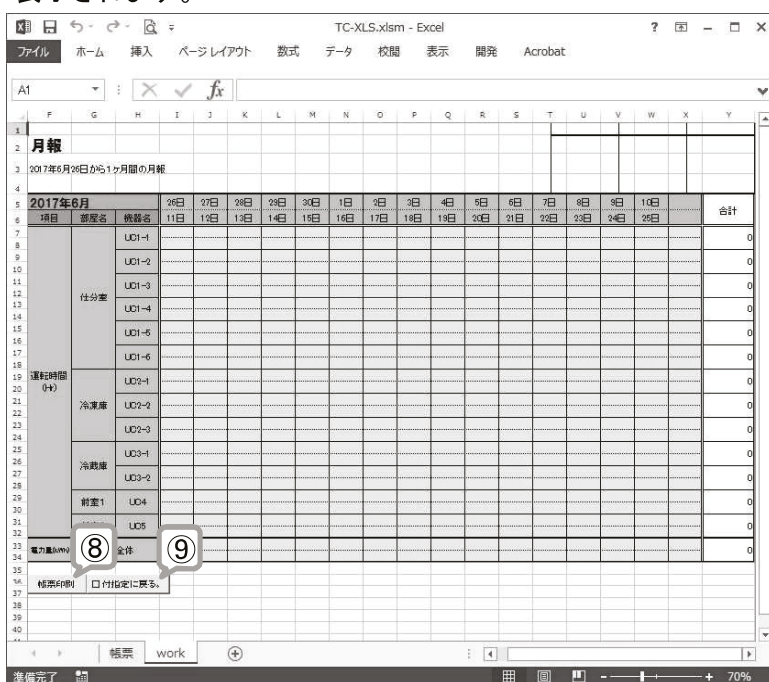
- 5) 「印刷前に編集する。」(⑥)にチェックしていない場合、次の月報のプレビュー画面が表示されます。プリンターへ出力したい場合はプレビュー画面左上の「印刷」ボタンをクリックして下さい。
- ・ 月報は指定した日付から1ヶ月分が表示されます。
 - ・ 当日の0:00~翌日の0:00の差分値が1日分のデータとして表示されます(データ項目が「移動デマンド」以外の場合)。
- データ項目が「移動デマンド」の場合、当日の移動デマンド(3分周期で演算)の最大値が表示されます。

<例>

2017年6月26日を指定した場合、2017年6月26日の0:00~2017年6月27日の0:00の差分値が2017年6月26日のデータとして表示されます。
 ※データ項目が「移動デマンド」以外の場合。



- 6) 「印刷前に編集する。」(⑥)にチェックした場合、指定した月報の“WORK”シートが表示されますので、検認欄等、必要に応じて編集して下さい。帳票を印刷したい場合は、「帳票印刷」ボタン(⑧)をクリックします。プレビュー画面が表示されます。別の帳票を表示したい場合は、「日付指定に戻る。」ボタン(⑨)をクリックします。“帳票”シートが表示されます。



4-3. 年報出力



- 1) 「<」ボタン(①)、「>」ボタン(②)をクリックして出力したい年報の年月を指定してカレンダー(③)を表示させてください。
- 2) 前述の1)で指定した年月のカレンダー(③)から出力したい年報の日付を指定してください。
- 3) 「年報」(④)を選択した状態で「表示」ボタン(⑤)をクリックします。
- 4) 検認欄等、帳票を編集したい場合、「印刷前に編集する。」(⑥)をチェックして下さい。
- 5) 「印刷前に編集する。」(⑥)にチェックしていない場合、年報のプレビュー画面が表示されます。プリンターへ出力したい場合はプレビュー画面左上の「印刷」ボタンをクリックして下さい。
 - ・ 年報は指定した日付から12ヶ月分が表示されます。
 - ・ 指定した日付の0:00～翌月の同日日の0:00の差分値が1ヶ月分のデータとして表示されます。

<例>

2017年6月26日を指定した場合、2017年6月26日の0:00～2017年7月26日の0:00の差分値が2017年6月のデータとして表示されます。

なお、1月29日～1月31日を指定した場合(翌月に同日付が存在しない場合)は2月28日(翌月の末日)の0:00の差分値が1月のデータとして表示されます。

2017年		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
仕分書	UC1-1													0
	UC1-2													0
	UC1-3													0
	UC1-4													0
	UC1-5													0
運転時数 (hr)	UC2-1													0
	UC2-2													0
冷庫庫	UC2-3													0
	UC3-1													0
冷庫庫	UC3-2													0
	UC4													0
暖房費 (kWh)	UC5													0
	設置定価													0

- 6) 「印刷前に編集する。」(⑧)にチェックした場合、指定した年報の“WORK”シートが表示されますので、検認欄等、必要に応じて編集して下さい。
 帳票を印刷したい場合は、「帳票印刷」ボタン(⑧)をクリックします。プレビュー画面が表示されます。
 別の帳票を表示したい場合は、「日付指定に戻る。」ボタン(⑨)をクリックします。“帳票”シートが表示されます。

2017年			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計	
項目	部署名	機器名														
		UC1-1														0
		UC1-2														0
		UC1-3														0
		UC1-4														0
		UC1-5														0
運転時間 (分)	冷凍庫	UC2-1													0	
		UC2-2													0	
		UC2-3													0	
冷凍庫	UC3-1													0		
	UC3-2													0		
電力費(kWh)	UC4													0		
	全体													0		

5. 自動帳票出力

帳票をプリンターから自動で印刷することが可能です。



- 1) 自動印刷したい場合、①「自動印刷する。」にチェックしてください。自動印刷不要の場合は①「自動印刷する。」のチェックを外してください。
- 2) ②に自動印刷する時刻(時)を指定します。②の▼をクリックすると、「0時」～「23時」のプルダウンメニューが表示されます。
- 3) ③に自動印刷する時刻(分)を指定します。③の▼をクリックすると、「0分」～「59分」のプルダウンメニューが表示されます。
指定した時刻が既に過ぎている場合、翌日から自動印刷されます。

注1. 自動印刷は「通常使うプリンターに設定」されているプリンターから出力されます。

注2. 日報は毎日指定した時刻に自動印刷されます。

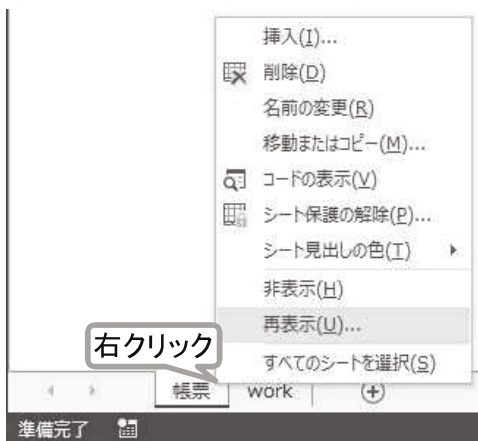
月報は毎月1日の指定した時刻に自動印刷されます。

年報は毎年元日の指定した時刻に自動印刷されます。

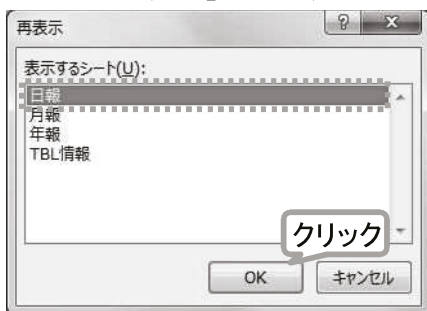
6. 帳票フォーマット編集

6-1. 日報フォーマット

- 1) 日報のフォーマットを編集する場合、「帳票」シートの名称部分を右クリックし、以下のメニューが表示されたら「再表示」を選択します。



2) 以下の「再表示」画面が表示されたら「日報」シートを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

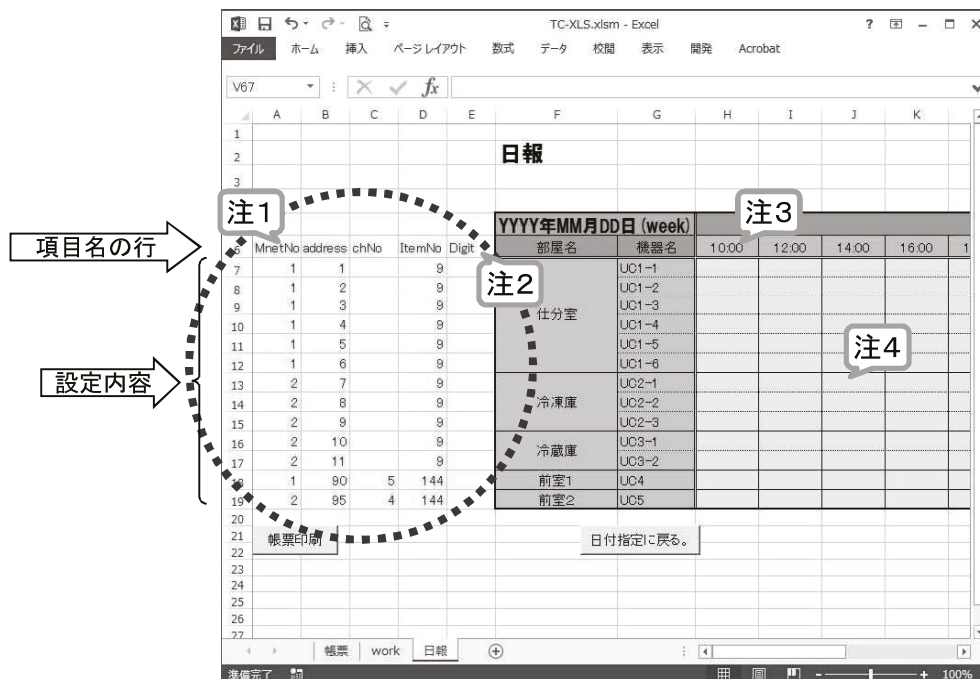


3) 「日報」シートが表示されたら、以下の項目の列を指定してください。

項目名	設定内容
MnetNo	データを表示する機器のM-NET系統No.(1~6)を指定します。
address	データを表示する機器の属性がIC、DC以外の場合、M-NETアドレス(1~254)を指定します。 データを表示する機器の属性がIC、DCの場合、グループNo.(1~150)を指定します。
chNo	データを表示する機器のチャンネル番号(MC-100D2、MC-200S2の場合のみ)を指定します。
ItemNo	データを表示する機器の属性に応じて「5-4. 出力データ項目」に示す値を指定します。
Digit	何も指定しないで下さい(列は削除しないで下さい)。

<例>

以下の「日報」シートの場合、「10:00」よりも小さい時刻のデータ(0:00~8:00等)は翌日のデータが表示されます。

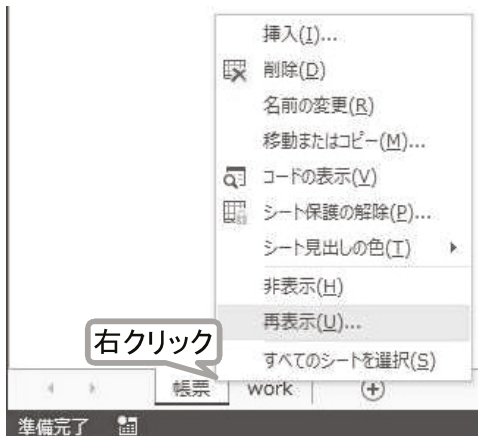


- 注1. 上記項目名の行は何行目でも問題ありませんが、すべて同じ行である必要があります。
- 注2. 上記項目名の行の次の行から設定内容を指定するように上記項目名の行を指定してください(項目名と設定内容の行間は詰めて下さい)。
- 注3. 時刻の欄は上記項目名と同じ行である必要があります。なお、時刻は任意に指定可能です。
- 注4. 指定した日付の、上記項目名と同じ行に「**:**」(**は数値)と記述した一番左の時刻から24時間分のデータの表示が可能です。
なお、時刻が左右の列で前後した場合、右側の列の時刻は翌日のデータとして処理されますので、時刻は日替わり時以外、左右で前後しないようにして下さい。
また、項目名の行に空白の欄が存在すると、それ以降(右側)の列のデータは無視されますので、項目名の行は列を詰めて下さい。

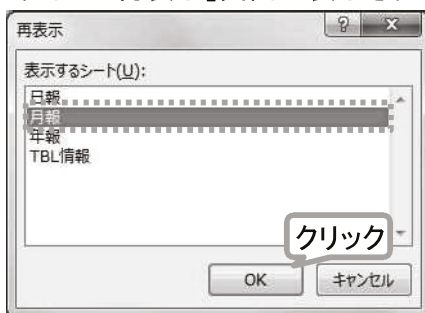
- 4) 「日報」シートの編集が終了したら、画面左上の「[保存]」をクリックして上書き保存して下さい。
再度「帳票」シートにて日報出力操作を行うと、「日報」シートは表示されなくなります。

6-2. 月報フォーマット

- 1) 月報のフォーマットを編集する場合、「帳票」シートの名称部分を右クリックし、以下のメニューが表示されたら「再表示」を選択します。



- 2) 以下の「再表示」画面が表示されたら「月報」シートを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- 3) 「月報」シートが表示されたら、以下の項目の列を指定してください。

項目名	設定内容
MnetNo	データを表示する機器のM-NET系統No.(1~6)を指定します。 移動デマンドを表示する場合はデマンド系統No.(1~4)を指定します。
address	データを表示する機器の属性がIC、DC以外の場合、M-NETアドレス(1~254)を指定します。 データを表示する機器の属性がIC、DCの場合、グループNo.(1~150)を指定します。 移動デマンドを表示する場合は空欄にします。
chNo	データを表示する機器のチャンネル番号(MC-100D2、MC-200S2の場合のみ)を指定します。 移動デマンドを表示する場合は空欄にします。
ItemNo	データを表示する機器の属性に応じて「5-4. 出力データ項目」に示す値を指定します。
Digit	何も指定しないで下さい。

<例>

以下の「月報」シートの場合、2017年6月26日を指定すると、「1日」の欄から右に「26日」から「10日」が順に表示され、「1日」の下の欄から右に「11日」から「25日」が順に表示されます（「26日」よりも小さい日付は翌月の日付になります）。

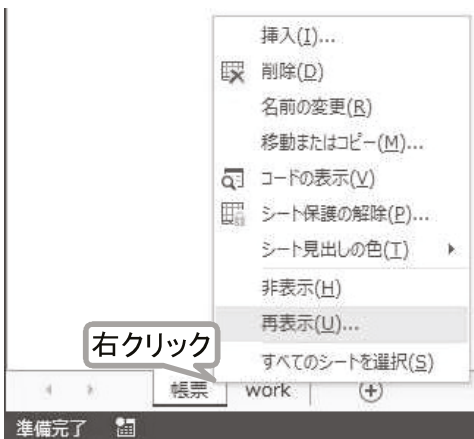


- 注1. 上記項目名の行は何行目でも問題ありませんが、すべて同じ行である必要があります。
- 注2. 上記項目名の行の2行目の行から1行間隔で設定内容を指定するように上記項目名の行を指定してください（項目名と設定内容の行は1行ずつ空けて下さい）。
- 注3. 日付（必ず「1日」を指定して下さい）の欄は上記項目名と同じ行である必要があります。「1日」の右の欄から15個目の欄までは空欄、「1日」の下の欄から右へ16個目までの欄は空欄として下さい。
- 注4. 指定した日付から1ヶ月分のデータを表示します（データ項目が「移動デマンド」以外の場合は当日の0:00から翌日の0:00の差分値を、データ項目が「移動デマンド」の場合は当日の移動デマンドの最大値を、1か月分表示します）。
上段は指定した日付から15日分のデータを表示し、下段は指定した日付の16日目から翌月の指定した日付の前日までのデータを表示します。

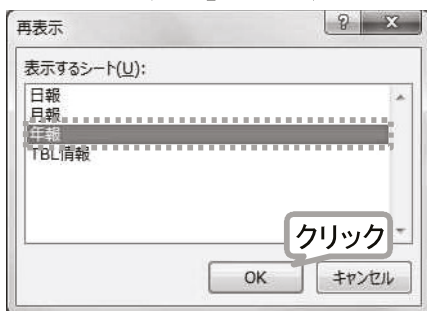
- 4) 「月報」シートの編集が終了したら、画面左上の「[保存]」をクリックして上書き保存して下さい。再度「帳票」シートにて月報出力操作を行うと、「月」シートは表示されなくなります。

6-3. 年報フォーマット

- 1) 年報のフォーマットを編集する場合、「帳票」シートの名称部分を右クリックし、以下のメニューが表示されたら「再表示」を選択します。



2) 以下の「再表示」画面が表示されたら「年報」シートを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



3) 「年報」シートが表示されたら、以下の項目の列を指定してください。

項目名	設定内容
MnetNo	データを表示する機器のM-NET系統No.(1~6)を指定します。
address	データを表示する機器の属性がIC以外の場合、M-NETアドレス(1~254)を指定します。 データを表示する機器の属性がICの場合、グループNo.(1~150)を指定します。
chNo	データを表示する機器のチャンネル番号(MC-100D2、MC-200S2の場合のみ)を指定します。
ItemNo	データを表示する機器の属性に応じて「5-4. 出力データ項目」に示す値を指定します。
Digit	何も指定しないで下さい。

<例>

以下の「年報」シートの場合、2017年6月26日を指定すると、「1月」の欄から右に「6月」から「5月」が順に表示されます(「6月」よりも小さい月は翌年の月になります)。



- 注1. 上記項目名の行は何行目でも問題ありませんが、すべて同じ行である必要があります。
- 注2. 上記項目名の行の次の行から設定内容を指定するように上記項目名の行を指定してください(項目名と設定内容の行間は詰めて下さい)。
- 注3. 月(必ず「1月」を指定して下さい)の欄は上記項目名と同じ行である必要があります。「1月」の右の欄から11個目の欄までは空欄として下さい。
- 注4. 指定した日付から12ヶ月分のデータを表示します(指定した日付の0:00から翌月の指定した日の0:00の差分値を12ヶ月分表示します)。
- 4) 「年報」シートの編集が終了したら、画面左上の「[印刷]」をクリックして上書き保存して下さい。再度「帳票」シートにて年報出力操作を行うと、「月」シートは表示されなくなります。

6-4. 出力データ項目

帳票(日報/月報/年報)毎に出力可能なデータ項目は以下の通りです。
 但し、同じ属性でもコントローラの種類やバージョンによって指定してもデータが表示されない項目もあります。

●:出力可能データ項目

属性 ^{注1}	データ項目	ItemNo	日報 ^{注2}	月報 ^{注2}	年報 ^{注2}
CC	サーモON点 ^{注3}	7	●		
CS	サーモOFF点 ^{注3}	8	●		
	庫内温度	9	●		
	オプションセンサー ^{注4}	10	●		
	クーラ出口温度 ^{注5}	11	●		
	クーラ入口温度 ^{注5}	12	●		
	除霜後の冷却運転時間	13	●		
	除霜開始運転時間(学習後)	14	●		
	除霜開始温度差(学習後) ^{注5}	15	●		
	圧縮機運転時間 ^{注3}	23		●	●
	圧縮機発停止回数 ^{注3}	24		●	●
	OC	低圧圧力	34	●	
高圧圧力		35	●		
外気温度		36	●		
吐出温度		37	●		
吸入温度		38	●		
圧縮機運転周波数		39	●		
高圧飽和温度換算値		40	●		
液管温度		41	●		
目標凝縮温度		42	●		
目標蒸発温度		43	●		
OC OS		外気温度(モジュール)	54	●	
	低圧圧力(モジュール)	55	●		
	高圧圧力(モジュール)	56	●		
	吐出温度(モジュール)	57	●		
	吸入温度(モジュール)	58	●		
	高圧飽和温度換算値(モジュール)	59	●		
	低圧飽和温度換算値(モジュール)	60	●		
	液管温度(モジュール)	61	●		
	目標蒸発温度(モジュール)	62	●		
	目標凝縮温度(モジュール)	63	●		
	シェル温度(モジュール)	64	●		
	INV直流電流(モジュール)	65	●		
	INV直流電圧(モジュール)	66	●		
	アキュームレベル(モジュール)	67	●		
	圧縮機運転周波数(モジュール)	68	●		
	圧縮機運転周波数(仮)(モジュール)	69	●		
	圧縮機運転周波数(実)(モジュール)	70	●		
	FAN出力(モジュール)	71	●		
	INJ LEV開度(モジュール)	72	●		
	圧縮機運転時間	103		●	●
	圧縮機発停止回数	104		●	●
IC	室内温度	115	●		
	設定温度	116	●		
MCD	計量値(総積算)	134		●	●
MCS	計量値/計測値	144	● ^{注6}	● ^{注7}	● ^{注7}
デマンド系統	移動デマンド	202		● ^{注8}	

注1. MELCOLD II のシステム設定 (アドレス設定画面)にて各M-NET系統のアドレス毎に登録された属性を指します。

属性	機器
CC	親(ハイ)クオリティコントローラ
CS	子(ハイ)クオリティコントローラ
OC	冷凍機(※1)
IC	空調機(室内機)
MCD	MC-100D2(計量コントローラ)
MCS	MC-200S2(計測コントローラ)

(※1)空調用室外機および(ハイ)クオリティコントローラ-冷凍機間が接点接続の場合、登録しません。

注2. ●のない項目のItemNoを該当する帳票に指定すると、正しくデータが表示されませんのでご注意ください。

注3. コントローラのソフトウェアバージョンがVer.11.00以降の場合、表示可能なデータ項目です。

注4. コントローラ形名が「RB*-****RA-Q/HQ」の場合、表示可能なデータ項目です。

注5. コントローラ形名が「AC-100HQ」の場合、表示可能なデータ項目です。

注6. アナログ入力チャンネルの用途が「計測値」の場合、表示可能なデータ項目です。

注7. アナログ入力チャンネルの用途が「計量値」の場合、表示可能なデータ項目です。

注8. 当日の最大値と当月の最大値が月報に表示されます。

7. CSVファイル出力 (Ver.2.01以降対応)

帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」にて生成される帳票データはCSVファイルへ出力されます。

7-1. CSVファイル出力先

帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」のインストールフォルダ直下の「CSV」フォルダ

「1. インストール」の章で「C:\MELCOLD2」フォルダに帳票作成ツール「TC-XLS.xlsm」ファイルをコピーした場合は以下のフォルダに出力されます。

●CSVファイル出力先フォルダ

C:\MELCOLD2\CSV

7-2. CSVファイル名

以下のファイル名でCSVファイルが出力されます。

ファイル名の「yyyymmdd」には西暦(4桁)+月(2桁)+日(2桁)が相当します。

帳票種類	出力ファイル名
日報	DailyReport_yyyyymmdd.csv
月報	MonthlyReport_yyyyymmdd.csv
年報	YearlyReport_yyyyymmdd.csv

7-3. 出力タイミング

下表の「○」のタイミングでCSVファイルが生成されます。

帳票種類	手動印刷時			自動印刷時(指定時刻)			毎日0:10
	日報	月報	年報	毎日	毎月1日	毎年元日	
日報	○			○	○	○	○
月報		○			○	○	○
年報			○			○	○

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷517-7